

第 56 回技能五輪全国大会「理容」職種 競技課題

1. 競技課題および時間

競技課題 1	ファッションヘアカット&カラー	1 4 0 分
競技課題 2	クラシカルバック バリエーションヘア	1 2 0 分
競技課題 3	ファッションパーマメントウェーブ&カット (写真解釈)	1 6 0 分
競技課題 4	ストレートパーマ スタイルチェンジ	1 2 0 分

2. 競技の内容

選手は競技課題に沿ったスタイルを3 体のマネキンで 4 種目すべて作成すること。

3. モデル

モデルは会場で配布の指定マネキンで、第 3、4 競技課題は同一のマネキン、第 1、2 競技課題は各 1 体別のマネキンを使用する。

マネキンは会場で配布し、選手持参のマネキンは使用できない。

各課題とも競技時間内に持参のボディーと衣裳を装着すること (参考資料 1 参照)。

マネキンの胸部より下に、新たな衣裳および装飾品をつけてはならない。

衣裳は現代のファッションに適応したもので、軍服や歴史的な衣裳は禁止する。

4. 競技会場設備

選手一人あたりの作業面積は 4 m²とする。

電源のコンセントは選手一人につき 1 2 0 0 個までとする (二カ所)。

作業用テーブルと折りたたみ椅子を設置する。

5. 支給材料

メンズマネキン

No.212F (L) × 1 個 (競技課題 3・4 で使用) : (株)三矢

No. 212F (L) プラチナブロンズ × 1 個 (競技課題 1 で使用) : (株)三矢

No.503 × 1 個 (競技課題 2 で使用) : (株)三矢

カラーリング用 2 剤

ルベル マテリアオキシ 1000ml 6 % × 1 本 : タカラベルモント(株)

6. 競技日程

<u>11 月 2 日</u> (金)	下見 (集合時間	10 時 30 分	終了時間	12 時 00 分)
<u>11 月 3 日</u> (土)	競技 (集合時間	<u>10 時 00 分</u>	終了時間	<u>16 時 05 分</u>)
<u>11 月 4 日</u> (日)	競技 (集合時間	<u>9 時 30 分</u>	終了時間	<u>15 時 50 分</u>)

7. 提供品 (予定)

シャンプー

ユニフィット リセットシャンプー : クラシエホームプロダクツ販売(株)

コンディショナー

ユニフィット リペアコンディショナー : クラシエホームプロダクツ販売(株)

ブリーチ剤

ルベル プラチナブリーチ : タカラベルモント(株)

公 表

理容職種 第 56 回大会用

※ は前回大会用資料の記述から変更しています。

選手の留意事項

1. 競技は競技・運営委員の合図で一斉に始めること。
※薬剤の準備等含め、すべて競技時間内に行うこと。
2. 終了時間になり次第、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従い待機または次の準備を行うこと。
3. 競技終了後、競技作業場の清掃および整理整頓は各自が責任を持って行うこと（5分程度）。
4. ボディーや衣裳は、競技時間内に装着すること。
5. 清潔で作業のしやすい、理容師らしい作業衣を着用すること。
6. 競技課題は提示された通り、正確かつ丁寧で美しい作品を作業時間内で完成させること。
7. 作業は競技課題に従い確実に行うこと。
8. 質問等は挙手で合図し、競技委員の指示に従うこと。
9. 禁止事項に抵触した場合、重大な減点の対象となる。
10. その他、競技委員の指示に従い行動すること。

禁止事項

1. 指定以外のマネキンを使用すること。
2. 携帯電話等、外部との連絡を取るためのツールを会場内で使用すること。
3. 競技時間中に選手同士および外部と会話をすること。
4. 競技時間中に用具、薬剤の貸し借りをすること。
5. 作業スペース以外で作業を行うこと。
6. マネキンにメイクや印をつけること。
7. 指定以外の電気器具を使用すること。
8. 競技終了後にウィッグの頭部に触れること。
9. 国の基準に合わない薬剤、指定以外の薬剤を使用すること。
10. 上記のほか、競技課題毎に定めた禁止事項に抵触した場合は、重大な減点の対象となる。

その他の事項

1. 競技中、選手は競技エリアから出ないこと（トイレに行く場合は競技・運営委員または補佐員に必ず申し出ること。またこれに要する時間は作業時間内とする）。
2. 支給のマネキンはすべて検品してあるので交換はできない。ただし、何か重大な問題が生じている場合のクレームは申し出ることができる。
3. 作業テーブル番号は選手受付時に抽選で決定する。
4. マネキンの首のキャップ前側にゼッケン番号のシールを必ず貼ること。
5. 電源、シャワー等のトラブルは近くの競技委員または補佐員に申し出ること。
6. 競技時間は理容職種競技会場内の時計で表示する。 ※競技終了時間はホワイトボードに表示
7. 終了前の時間の告知は運営委員によって行われる。
8. 競技終了の合図で選手はマネキンから必ず離れ、その後は触れないこと。
9. 競技終了後は速やかに荷物を片づけ、髪などのゴミを所定の場所に片づけること。
10. マネキンの取り扱いとは人間を想定し取り扱うこと（下に叩きつけるような行為等は禁止）。
11. 絆創膏の準備等、各自ケガへの対策を講じること。

競技課題 1 ファッションヘアカット＆カラー

1. 競技時間

140分

2. 髪 型

男性のファッションヘアであること。

奇妙でも革新的でもなく、時代性を取り入れたファッションナブルなスタイルであること。

(1) セット

アヴァンギャルドなスタイルではなく、ファッションナブルなスタイルであること。

セット用具、器具はすべて自由（電気器具は除く）。

(2) カラー

ファッションナブルなカラーであること。

技能五輪国際大会を意識し、外国人のファッションカラーをイメージすること。

すべての毛髪に着色する必要がある。

※ウィービング、スライシング、グラデーションなどのカラーリングテクニックを用いること。

※薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用しても良い。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

(3) カット

長さは自由。クリッパーの使用は不可。ただし1mm以下のトリマーは可とする（アタッチメントの使用は不可）。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー、ヘアアイロン、トリマー

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラスプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

公 表

理容職種 第 56 回大会用

※ 〃 は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 採点項目および配点

主観審査

<u>審査項目</u>	<u>審査細目</u>	<u>配点</u>	<u>ウェート</u>
<u>カット・セット</u>	<u>カットとスタイリンの全体的印象</u>	<u>10</u>	<u>3</u>
<u>カラー</u>	<u>カラーリングの全体的印象</u>	<u>10</u>	<u>3</u>
<u>トータルバランス</u>	<u>トータルバランス</u>	<u>10</u>	<u>4</u>

客観審査

<u>審 査 項 目</u>	<u>減 点</u>
<u>すべての毛髪に着色できていない</u> <u>1 割できていない＝△ 1 点 2 割＝△ 2 点 3 割以上＝△ 3 点</u>	<u>△ 1 ～ 3 点</u>
<u>ウィービングやスライシングなどのテクニックを用いていない</u>	<u>△ 3 点</u>
<u>カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している</u> <u>1 箇所＝△ 1 点 2 箇所＝△ 2 点 3 箇所以上＝△ 3 点</u>	<u>△ 1 ～ 3 点</u>
<u>刈り毛が付着している</u> <u>顔に付着している＝△ 1 点 耳や襟に付着している＝△ 1 点</u>	<u>△ 1 ～ 2 点</u>
<u>衣装の不備</u> <u>衣装の装着が不完全＝△ 1 点 衣装が装着されていない＝△ 2 点</u>	<u>△ 1 ～ 2 点</u>

不安全行動に対する減点

<u>減 点 項 目</u>	<u>減 点</u>
<u>ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない</u>	<u>△ 1 点</u>

競技課題 2 クラシカルバック バリエーションヘア

1. 競技時間

120分

2. 髪 型

伝統的なクラシカルカットによるファッション性とデザイン性を備えたスタイルであること。

(1) カット

カットはクラシカルヘアカットであること。

ネックラインは男性的な美しいぼかしであること。

すべての鋏（すきバサミを含む）・レーザーを使用してもよい。

襟足とサイドは伝統的なテーパーをつけ、毛量を段階的に減らす。

クリッパーの使用は不可。

(2) カラー

カラーは3色以上とする。脱色・脱染のみは1色として換算しない。

※カラーリング2剤は支給材料（ルベル マテリアオキシ6%）を使用すること。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

(3) セット

セット用具、器具は全て自由（電気器具は除く）。

フロントのデザインは自由とする。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラスプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

公 表

理容職種 第 56 回大会用

※ 〃 は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
ネックラインにシャープさがない ネックラインがゆがんでいる＝△1点 ネックラインがついていない＝△2点	△1～2点
後頭下部に色彩がない	△1点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
衣装の不備 衣装の装着が不完全＝△1点 衣装が装着されていない＝△2点	△1～2点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点

競技課題3 ファッションパーマネントウェーブ&カット (写真解釈)

1. 競技時間

160分(以下の時間区分で実施すること)

作成時間(パーマネントウェーブ、ヘアカット)	125分
インターバル	10分
フィンガーセット	25分

2. 写 真

主催者側があらかじめ用意した複数枚の写真から、競技当日、競技主査が無作為に1枚選択し、競技開始と同時に掲示する。

3. 髪 型

正面写真のみが与えられ、選手は写真を再現する(写真と非常に近いもの)必要がある。写真は正面のみとし、その他は自由なデザインとする。

(1) パーマネントウェーブ

使用するパーマロッド数は、最大35本までとする(ピンパーマはその範囲ではない)。

薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用してもよい。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用(混合)してもよい。

(2) カット

写真以外の髪の長さは自由。クリッパーおよびトリマーの使用は不可。

カットは、パーマのワイディングの前後いつ行っても良い。

ただし、セット時間に入ってからのカット、トリミングは不可。

(3) セット

フィンガーセット 25分間

ハンドドライヤーのみ使用してスタイリングを行う。

※注意 セット中はハンドドライヤー以外のセット用具は使用禁止。

整髪料は使用しても良い。

4. インターバル

セットに入る前に10分間のインターバルを取り、必ずマネキンを水洗いする。

この間にボディーと衣装の装着をしても良い。

※注意 水洗い後のセット用具の使用は禁止。

5. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー

6. 整髪料

一切自由(ただし、カラスプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く)。

公 表

理容職種 第 56 回大会用

※ 〃 は前回大会用資料の記述から変更しています。

7. 採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェイト
カット・セット	写真と同様の長さ、質感、流れ、動きにカット・セットされているか	10	3
パーマ	パーマで写真と同様の流れや動きが表現されているか	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
ロッドの跡がついている パーマ部分の 1 / 3 についている = △ 1 点 パーマ部分の 2 / 3 についている = △ 2 点 パーマ部分のすべてについている = △ 3 点	△ 1 ~ 3 点
輪ゴムの跡がついている パーマ部分の 1 / 3 についている = △ 1 点 パーマ部分の 2 / 3 についている = △ 2 点 パーマ部分のすべてについている = △ 3 点	△ 1 ~ 3 点
刈り毛が付着している 顔に付着している = △ 1 点 耳や襟に付着している = △ 1 点	△ 1 ~ 2 点
衣装の不備 衣装の装着が不完全 = △ 1 点 衣装が装着されていない = △ 2 点	△ 1 ~ 2 点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△ 1 点

競技課題 4 ストレートパーマ スタイルチェンジ

1. 競技時間

120分（以下の時間区分で実施すること）

ストレートパーマ 60分

ストレートパーマチェック

カット・セット 60分

2. 髪 型

第3課題「ファッションパーマネントウェーブ&カット（写真解釈）」で作成したマネキンをストレートパーマとカットによりスタイルチェンジする。

セットではないケミカルなストレートパーマ、ヘアカットを行い、必ず刈り上げを施したファッションナブルなスタイルであること。

（1）パーマ

すべての髪にストレートパーマを施すこと（カット予定の髪も含めすべて）。

ストレートパーマは、カット・セット前に競技委員によって客観審査される。

ストレートパーマ時間中に1液、2液処理、リンスングを終わらせ、放射状にコーミングした状態でチェックを受けること。

※ストレートパーマチェック中、選手は競技エリアに入ることはできない。

（2）カット

器具は自由。

カットはストレートパーマチェックを受けた後、行うこと。

必ず刈り上げを施すこと。

（3）セット

刈り上げを施したファッションナブルなスタイルであること。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー、クリッパー、トリマー。

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラスプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

公 表

理容職種 第 56 回大会用

※ 〃 は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 採点項目および配点

主観審査

<u>審査項目</u>	<u>審査細目</u>	<u>配点</u>	<u>ウェート</u>
<u>カット</u>	<u>カットの全体的印象</u>	<u>10</u>	<u>3</u>
<u>セット</u>	<u>セットの全体的印象</u>	<u>10</u>	<u>3</u>
<u>トータルバランス</u>	<u>トータルバランス</u>	<u>10</u>	<u>4</u>

客観審査

<u>審 査 項 目</u>	<u>減 点</u>
<u>ストレートパーマがかかっている</u> <u>Jカール=△1点 Cカール=△2点 Sウェーブ=△3点</u>	<u>△1～3点</u>
<u>すべての髪にストレートパーマがかかっている</u> <u>1割できていない=△1点 2割=△2点 3割以上=△3点</u>	<u>△1～3点</u>
<u>刈り毛が付着している</u> <u>顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点</u>	<u>△1～2点</u>
<u>衣装の不備</u> <u>衣装の装着が不完全=△1点 衣装が装着されていない=△2点</u>	<u>△1～2点</u>

不安全行動に対する減点

<u>減 点 項 目</u>	<u>減 点</u>
<u>ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない</u>	<u>△1点</u>

参考資料 1

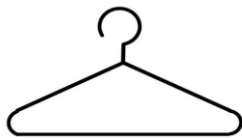
全競技課題共通 簡単なウィッグのボディーの作成方法

日本の競技大会において、ボディーの装着というのはあまり馴染みのないものですが、技能五輪国際大会やOMC主催の各種国際大会の舞台では必須です。

ボディーの装着はあなたの作品を競技委員や一般の見学者によりアピールするためのものです。華やかな大会になることを期待しています。

作成手順（下記の方法とは別に、国家試験用のショルダーを使用しても構いません）

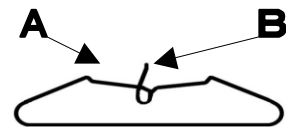
- ①針金ハンガー（針金にビニールを被せてあるもの）を用意します。



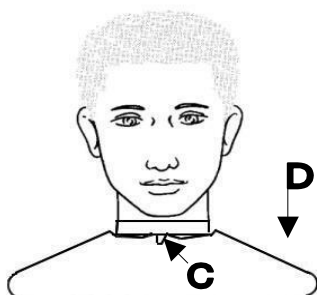
- ②引っ掛ける部分を反対向きに曲げます。



- ③Aのように、ウィッグの下キャップに合うように平らにし、Bの引っ掛ける部分を少し矯正しウィッグの下穴に入りやすくします。



- ④Cにクランプとハンガーをいっしょに差し込むことにより、しっかりと固定されます。Dの肩の部分にパットを着けたり、針金等で厚みを出したりすると、衣裳を着せた際、より自然に見えます。また、ウィッグの場合、首が人間より細いので、安全ピンなどでシャツをとめると良いでしょう。



ダンボールを使用しても構いませんし、独自に工夫して作ってください。

衣裳もジャケットを着せたりタイを変えたりし作品イメージと合わせて、トータルで表現してください。

（参考例）



公表

理容職種 第56回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

第56回技能五輪全国大会「理容」職種 持参用具等一覧表

チェック	品 名	個 数
	クランプ（高さ調整可能なもの） ※スタンドクランプを持ち込み、使用しても構いません。ただし、審査時には競技テーブルにクランプを固定し、それに装着すること。	1～2個
	ハンドドライヤー1200W以内 ※故障時に備え、必ず2台以上持参すること。	2台以上
	延長コード（2m位）	1本
	はさみ	必要本数
	ヘアアイロン（ストレート、カール用等）	必要個数
	クリッパー	必要個数
	トリマー	必要個数
	レーザー（替え刃可）	必要本数
	カット用コーム	必要本数
	ダッカールピン	必要本数
	カラーリング・ストレートパーマ用カップ	必要個数
	カラーリング・ストレートパーマ用ブラシ	必要本数
	カラーリング用手袋	必要数
	ロッド（各種） ※競技課題1 ファッションパーマネントウェーブ&カット（写真解釈）の課題写真は8～12mmのロッド35本以内を使用した作品です。	必要本数
	ペーパー	必要枚数
	フリーピン	必要本数
	輪ゴム	必要本数
	トリガー（霧吹き）	1～2個
	タオル	必要枚数
	黒タオル	必要枚数
	パーマ液用スポイド	1～2個
	ジャンボコーム	1～2本
	ワインディング用コーム	1～2本
	セット用ブラシ各種	必要本数
	ラップ（アルミホイル等）	必要本数
	毛染め用クロス	1枚
	ドライヤーボンネット	1個
	ヘアキャップ	必要数

※その他必要となるものは、選手が各自持参すること

チェック	品 名	個 数
	毛払いブラシ	必要数
	計量器（カラー剤用）	1台
	刈布	1枚
	ティッシュ、コットン等	適量
	スタイリング剤	必要量
	シャンプー、リンス	必要量
	トリートメント	必要量
	リムーバー	適量
	ボディ	1体
	衣裳	数着
	絆創膏	適量
	ガムテープ	1本
	筆記用具	一式
	ターバン	1本
	ゴミ袋（大）	必要枚数
	洗面器 ※シンクで洗ったウィッグを移動する際、水が床に垂れるのを防ぐために使用。	1個
	ほうき、ちりとり ※自分の競技スペース清掃用として持ち込み、使用しても構いません。	一式
	ビニールシート ※競技スペース（4㎡）養生用。	1枚

競技課題の薬液（選定は各自自由）

チェック	品 名	個 数
	パーマ液	必要量
	ストレートパーマ液	必要量
	ウェーブコントロール剤	必要量
	カラーリング剤	必要量
	ブリーチ剤（1剤）	必要量
	前・後処理剤	必要量

公 表

理容職種 第56回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

第56回技能五輪全国大会「理容」職種 競技会場設備基準

設備の名称		寸法又は規格	数量	備 考
区分	品 名			
競技場	シャンプー台	シャワーノズル付	30台	※美容職種と共用
	ビニールシート	全面		※会場によりシート養生しない場合あり
	電源	合計1200W	2ヵ所/選手	各作業台下部に設置
	折りたたみ椅子	背もたれ付	必要数	用途：選手席用、委員席用など
	長机（競技用）	180cm×45cm×75cm ※クランプ取り付けのため、机手前部分に均一の厚さの奥行きが約15～20cmあるもの。厚さは5cm程度。	1台/選手	※会場により机のサイズは前後
	長机（作品展示用）	180cm×45cm×75cm ※白布を掛けて使用	必要数	※会場により机のサイズは前後
	長机	180cm×45cm×75cm	必要数	用途：委員席用、備品置場用など ※会場により机のサイズは前後
	照明器具	全面		照度1000ルクス以上が理想 ※会場により前後
	時計		2台	後方選手が確認できる大型のもの
	ホワイトボード	180×90mm ※規格物	4台	終了時間等を周知させるため

第 56 回技能五輪全国大会「理容」職種 競技進行表

	1 1 月 2 日 (金)		1 1 月 3 日 (土)		1 1 月 4 日 (日)
				9:30	選手集合
				9:40	競技課題説明
				9:50	競技開始
10:30	選手受付開始 於：沖縄県総合運動公園	10:00	選手集合		
		10:10	競技課題説明		
		10:30	競技開始		
11:00	説明会開始 説明および諸準備		【競技課題 1】 ファッションヘア カット & カラー (140 分)		【競技課題 3】 ファッションパーマ ネットウェーブ & カ ット (写真解釈) (160 分)
12:00	昼食 開会式会場へ移動			12:30	競技終了、清掃 (5 分間)
		12:50	競技終了、清掃 (5 分間)	12:35	
		12:55			昼食
			昼食	13:35	選手集合
		13:55	選手集合 課題 1 の作品を展示	13:50	競技開始
14:30	開会式会場開場 於：沖縄セルラースタ ジアム那覇	14:05	競技開始		【競技課題 4】 ストレートパーマ ス タイルチェンジ (120 分)
			【競技課題 2】 クラシカルバック バリエーション ヘア (120 分)	15:50	競技終了、清掃 (5 分間)
		16:05	競技終了、清掃 (5 分間)	16:55	課題 4 の作品を展示
		17:10	選手集合 課題 2 の作品を展示		

公 表

理容職種 第 56 大会用

※ は前回大会用資料の記述から変更しています。

第56回技能五輪全国大会「理容」職種 採点基準

1. 採点項目及び配点

競技課題1 ファッションヘアカット＆カラー

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
すべての毛髪に着色できていない 1割できていない＝△1点 2割＝△2点 3割以上＝△3点	△1～3点
ウィービングやスライシングなどのテクニックを用いていない	△3点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
衣装の不備 衣装の装着が不完全＝△1点 衣装が装着されていない＝△2点	△1～2点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点

審査基準

1. アヴァンギャルドなスタイルではなく、ファッションナブルなスタイルであるかを見る。
2. 技能五輪国際大会を意識した外国人のファッションカラーをイメージしたファッションナブルなヘアカラーであるかを見る。
3. 時代性を取り入れたファッションナブルなスタイルであるかを見る。
4. トータルバランスが良いかを見る。
5. すべての毛髪に着色しているかを見る。
6. ウィービング、スライシング、グラデーションなどのカラーリングテクニックを用いているかを見る。

公 表

理容職種 第56回大会用 ※ 〃は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題2 クラシカルバック バリエーションヘア

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェイト
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
ネックラインにシャープさがない ネックラインがゆがんでいる＝△1点 ネックラインがついていない＝△2点	△1～2点
後頭下部に色彩がない	△1点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
衣装の不備 衣装の装着が不完全＝△1点 衣装が装着されていない＝△2点	△1～2点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点

審査基準

1. 伝統的なクラシカルカットによるファッション性とデザイン性を備えているかを見る。
2. ネックラインはシャープで、男性的であるかを見る。
3. 後頭部の色彩は横一文字で、幅広で十分に刈り上げているかを見る。
4. フロントのデザインを活かした効果的なカラーであるかを見る。
5. シルエットはスクエアラウンドであるかを見る。
6. 3色以上のカラーであるかを見る。

公 表

理容職種 第 56 回大会用

※ 〃は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題3 ファッションパーマメントウェーブ&カット（写真解釈）

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	写真と同様の長さ、質感、流れ、動きにカット・スタイリングされているか	10	3
パーマ	パーマで写真と同様の流れや動きが表現されているか	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
ロッドの跡がついている パーマ部分の 1 / 3 についている＝△ 1 点 パーマ部分の 2 / 3 についている＝△ 2 点 パーマ部分のすべてについている＝△ 3 点	△ 1 ～ 3 点
輪ゴムの跡がついている パーマ部分の 1 / 3 についている＝△ 1 点 パーマ部分の 2 / 3 についている＝△ 2 点 パーマ部分のすべてについている＝△ 3 点	△ 1 ～ 3 点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△ 1 点 耳や襟に付着している＝△ 1 点	△ 1 ～ 2 点
衣装の不備 衣装の装着が不完全＝△ 1 点 衣装が装着されていない＝△ 2 点	△ 1 ～ 2 点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△ 1 点

審査基準

1. 写真に対し、よく理解され忠実に表現されているかを見る。
2. 正面からの写真に合わせたファッションナブルでバランスの良いカット、スタイリングがなされているかを見る。
3. フィンガーセットによる美しいウェーブ・カール表現が出来ているかを見る。
4. トータルバランスが良いかを見る。

公 表

理容職種 第 56 回大会用 ※ 〃は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題 4 ストレートパーマ スタイルチェンジ

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット	カットの全体的印象	10	3
セット	スタイリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
ストレートパーマがかかっているか Jカール=△1点 Cカール=△2点 Sウェーブ=△3点	△1～3点
すべての髪にストレートパーマがかかっているか 1割できていない=△1点 2割=△2点 3割以上=△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点	△1～2点
衣装の不備 衣装の装着が不完全=△1点 衣装が装着されていない=△2点	△1～2点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点

審査基準

1. ストレートパーマがかけられているかを見る。
2. 刈り上げを施したファッショナブルなスタイルであるかを見る。
3. ストレートパーマを活かしたスタイルであるかを見る。
4. トータルバランスが良いかを見る。
5. すべての髪にストレートパーマが施されているかを見る。

公 表

理容職種 第 56 回大会用 ※ 〃は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題のウェートのかけ方

競 技 課 題	ウェートバランス
競技課題 1 ファッションヘアカット&カラー	0.3
競技課題 2 クラシカルバック バリエーションヘア	0.3
競技課題 3 ファッションパーマネントウェーブ&カット (写真解釈)	0.2
競技課題 4 ストレートパーマ スタイルチェンジ	0.2

2. 採点方法

(1) 主観審査の方法

採点は下記のとおり審査項目ごとに 10 点満点制とし、所定の審査表により行う。

(参考)

10	Perfect	完璧	5	Weak	やや劣る
9	Excellent	すばらしい	4	Bad	悪い
8	Very good	非常に良い	3	Insufficient	不十分
7	Good	良い	2	Very bad	非常に劣る
6	Medium	まあまあ普通	1		

- ・ 最高点の 10 点は審査項目ごとに必ず 1 つつけ、9 点以下は同点があってもよい。
- ・ 得点数が同点の場合は、競技委員主査の採点表の得点数でその順位を決定する。
- ・ 競技委員主査の採点表で同点の場合は、主査の採点表で優先する競技課題の得点差で決定する。

優先順位は次のとおり

第一優先：競技課題 4 クラシカルバック バリエーションヘア

第二優先：競技課題 1 ファッションヘアカット&カラー

第三優先：競技課題 3 ファッションパーマネントウェーブ&カット (写真解釈)

第四優先：競技課題 4 ストレートパーマ スタイルチェンジ

(2) 客観審査の方法

客観審査は減点方式で行う。

減点数は各競技委員の判断ではなく、全競技委員の確認のもとに決定し、各課題の主観審査の総合得点（100 点満点）から減点される。

(3) 作業時間採点の方法

各競技課題に定められた作業時間を超えた場合、採点を行わない。

(4) 作業態度採点の方法

加点はしないものとし、他の競技者への妨害や迷惑をかけるなど、作業態度が著しく悪い場合は、競技委員の合議制で減点する。